

減圧ボール

教材教具名

教科 (能活動)

情報提供者



I

D ① 姿勢不安(重力不安)の改善。

② 上半身のストレッチ。

③ 固有感覚への刺激。

④ 対人関係の向上。

※①は教師が前後左右に大きく動く。

I ① 姿勢不安(重力不安)の改善。

・ヘッドコントロール

・両腕の自発的な動き。

② 腰、背中への刺激。

③ 重力方向の変化。

※胃ろうの処置をしている児童・生徒もできる。

教材教具の概略(ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

1 ねらい

健康な体づくり。快・不快の表情の表出。

2 発達段階

全児童・生徒

3 使い方

〈取り組みの実際について〉

・A～Jまで21例の写真があるが、これらは基本的な形を示しているもので、ボールの大きさ(100cmごと)に45cm～95cm)や使用回数、空気を抜く減圧の量は児童・生徒の実態、学習する部屋の広さ等により変えながら実施している。

・どの形が静止状態を維持するだけでなく、教師がボールを足ミカキに押すことで緩やかな刺激を与え続けたり、一定の方向に押すことで少し変化した体勢で静止をし、違う方向からの刺激を与えたりしている。さらにボールを少しずつ傾け続け、大きく体勢を変化させ、重力方向を変えたり不安定さを感じることで自ら動くようになる方を引き出そうとしている。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等(次に利用するため)

- 便秘の緩和
- 随意的な運動
- 快・不快な表情の表出
- リラクゼーション・ストレッチ

等に評価ができる動きが出ている。

※提示している取り組みは2例だけだが、21例の中から実態とねらいに合わせて教種類を実施している。